

岡山市雨水貯留 (浸透) 施設に関する共同研究

全体期間

1996.10～1998.3

本文41P～45P

(目 的)

岡山市では、雨水流出抑制施設（大規模施設と簡易な小規模施設との併用）を含めた雨水排除基本計画の抜本的な見直しを行っており、なかでもオンサイト小規模貯留施設については、雨水排水全体計画及び長期計画の中で総合的な雨水排水機能を補完する有効な施設として位置づけ、長期計画の中ではその必要貯留高を35mmとしている。

本調査は、平成8年度に事前調査として行った「岡山市雨水貯留 (浸透) 施設検討・作成業務」により得られた知見をもとに、簡易なオンサイト小規模貯留施設についての雨水排除基本計画における位置づけ及び普及促進のための方策を明らかにし、具体的な小規模貯留施設の計画、設計、維持管理について示した「岡山市雨水貯留施設技術マニュアル」を作成した。

(結 果)

本技術マニュアルは「Ⅰ. 計画編」、「Ⅱ. 設計・維持管理編」、「Ⅲ. 資料編」の3編から構成されており、小規模貯留施設に着目し、その設置計画から評価、施設の構造や維持管理面までを網羅した岡山市独自のものとなっている。

「Ⅰ. 計画編」

「Ⅰ. 計画編」は、総合的な雨水排水機能を補完する対策の一環として、下水道施設以外の施設に小規模貯留施設を計画する場合、下水道を中心に各施設管理者が公共施設や民間施設においてその現有機能を認識した上で、設置可能な貯留施設の計画立案に活用できるものとした。

「Ⅱ. 設計・維持管理編」

「Ⅱ. 設計・維持管理編」は、計画編に基づき選定された個々の一般施設（貯留施設を設置する対象となる施設：例えば学校、公園等）ごとに、小規模貯留施設の設計手順や検討事項等、及び安全対策や保守・点検等の維持管理に関する事項について実務担当者のための手引きとして示したものである。

貯留施設設計の概略手順は以下のとおりである。

〔step 1〕 排水ブロックの決定

〔step 2〕 放流施設・貯留施設・導入施設のレイアウト

〔step 3〕 放流施設・貯留施設の寸法・水位関係の設定

〔step 4〕 各施設の設計

「Ⅲ. 資料編」

「Ⅲ. 資料編」では、小規模貯留施設の計画事例を一般施設ごとに示しており、各貯留方式における設計例、貯留量の算出方法等について紹介した。

また、岡山市において今後貯留施設設置の促進を図るため、「岡山市雨水貯留施設設置に関する指導要綱 (案)」を作成した。

共同研究者：岡山市

財団法人 下水道新技術推進機構

研究担当者：前田 正博、長谷川 隆之、石川 泰裕、森岡 真一

キーワード

雨水流出制御, オンサイト小規模貯留施設, 技術マニュアル, 貯留施設設置に関する指導要綱 (案)